

教科	国語	科目	文学国語	
履修条件 対象生徒	全員履修（2年・3年で分割履修） デザイン科 2学年			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に理解する力と適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、自らの生き方について考える態度を身に付ける。 ・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深めるとともに、進んで表現することによって社会常識の習得や、世界的な文化に対する理解、人間性の向上等を図る。 			
学習方法	<p>〔授業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の随筆、評論文・小説などについて読解や話し合いを通じて内容の構成、論理の展開・登場人物の心情を的確に把握する。 ・情報を相互に関連付けながら、内容を解釈し、自分の考えを深める。 ・目的や場に応じた話題を設定し、情報が的確に相手に伝わるように表現する。 <p>〔家庭学習〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを手がかりに事前に学習内容に触れたり学んだことについて確認したりする。 <p>〔補習・その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補習では、検定勉強の補助や基礎的・基本的事項の確認を行う。 ・漢字テストと関連付けた語彙学習を通じて、基礎的な漢字力を身に付ける。 			
学習計画 と ねらい	<p><1学期末考査まで> 明日をひらく そとみとなかみ 書く 言葉でスケッチ 小説を楽しむ（一） ナイン 本の世界を広げよう 古典の世界1 児の飴食ひたること <2学期末考査まで> 詩を味わう 小景異情 永訣の朝 詩の展開 名作を読む 山月記 生まれ変わる文学 古典の世界2 かぐや姫の昇天 月やあらぬ <学年末考査まで> 社会に生きる 神去りなあなあ日常 鞆 社会と文学 表現を味わう 身内ほど厄介な者はいない 柿 書く 思いを言葉に 古典の世界3 はしたなきもの</p>	<p>○随筆の読解方法を身につける。 ○筆者の思考方法を学び、自らの視野を拡大する。 ○人生の問題に向き合う態度を身に付ける。 ○写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ○場面の設定を通して登場人物の心情を考える。 ○情景描写の効果を考えながら読む。 ○文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ○近代詩・現代詩の表現技法・鑑賞のしかたを学ぶ。 ○言葉に対する感受性を磨き、創作体験をする。 ○読解を通して自己理解を深める契機とする。 ○漢文訓読調の文章の魅力を味わう。 ○小説読解の基本や、鑑賞方法を確認する。 ○想像力を豊かにし、言葉に対する感性を磨く。 ○仕事や自然に対する描写を読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。 ○この話に込められた寓意を読み取り考えを深める。 ○文章が切り取る社会の側面について考える。 ○多様な文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。 ○不特定の読み手を想定し、エッセイを書く。 ○既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度	
	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	
評価方法	<p>○評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」から総合的な評価を行う。</p> <p>○定期考査は、知識・理解を偏重することなく、3つの観点が評価できるよう作問を工夫する。</p> <p>○定期考査だけでなく、年間を通じて発表、作文、課題など、生徒の主体的な活動も重視する。またそれらの表現領域においては、テーマの設定から発表にいたる学習過程の全体を評価の対象とする。</p> <p>以上を総合的に判断して評価する。</p>			